

環境や食が悪ければ 人は病気になる——

人はなぜ病気になるのか。

病気になったときはどうするか。

病気や老化のメカニズムには

因果応報という普遍的な法則が息づいています。

東洋医学を研究して約35年の医学博士・水野修一先生が、
末永く幸せな暮らしをするための秘策を語ります。

遅老延寿のススメ

ち ろ う え ん じ ゅ



日時／2010年5月29日(土) 14:00～(開場13:30)

会場／福岡国際会議場5F(福岡市博多区石城町2-1)

■参加無料■

●お問い合わせ・お申し込み

株式会社エレガントジャパン「花峰クラブ」☎092(962)5070



●講師プロフィール
医学博士 水野修一 先生
医療法人敬天会 東和病院 副院長

1937年福岡県若松市(現・北九州市)出身。昭和43年九州大学医学部大学院終了。昭和43年12月より国立下関病院消化器科医長。昭和48年9月から平成10年8月まで国立小倉病院消化器科医長を務める。その間、現代医療体系での漢方薬方の位置づけを研究。昭和51年に漢方医療を開始。昭和56、57年には厚生省漢方療法研究班班長に就任。現在、敬天会 東和病院 副院長。和漢医薬学会名誉顧問、日本東洋医薬学会代議員。昭和62年、天台宗にて得度し、僧籍に入る(法名・修澄)
◎主著／『現代漢方医学入門』『図解常用漢方方財』『漢方治療の診断と実践』『漢方内科学』など

花峰
club